

海洋理工学会

Advanced Marine Science and Technology Society (AMSTEC)

平成18年度秋季大会

10/23(月)
シンポジウム

10/24(火)
学会賞記念講演・一般講演

京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホールⅠ
(京都市左京区吉田本町 京都大学吉田キャンパス本部構内)

シンポジウム (10月23日)

『東南海・南海地震に備えて』

司会：三ヶ田均 (京都大学)

10:00-10:20 基調講演

尾池和夫 (京都大学)

第Ⅰ部 来るべき巨大地震災害と防災

10:20-11:00 東南海・南海地震による津波災害と防災

河田恵昭 (京都大学防災研究所)

第Ⅱ部 明らかとなった南海トラフ沿いの巨大地震の周期性

11:00-11:40 東南海・南海地震の発生日

寒川旭 (独)産業技術総合研究所

第Ⅲ部 巨大地震を迎撃する調査・観測の動向

13:00-13:40 東南海・南海地震と海底地殻変動観測

安藤雅孝 (名古屋大学地震火山・防災研究センター)

13:40-14:20 東海沖一熊野灘ケーブル式海底地震計システム

齋藤祥司 (気象庁)

14:30-15:10 紀伊半島沖JAMSTECケーブルシステム

金田義行 (独)海洋研究開発機構

15:10-15:50 海底高密度リアルタイム観測網のデザインコンセプト

川口勝義 (独)海洋研究開発機構

16:00-16:40 「ちきゅう」による南海トラフ掘削

木下正高 (独)海洋研究開発機構

16:40-17:20 リアルタイム地震情報システム

藤縄幸雄 (リアルタイム地震情報利用協議会)

17:20-18:00 ラウンドテーブルディスカッション

18:00- イブニングセッション

「かいこう」で撮影された紀伊半島沖の新しい海底断層崖 提供:海洋研究開発機構

学会賞記念講演 (10月24日)

13:00-13:10 表彰式

13:10-13:50 堀田記念奨励賞

『バイオテレメトリーによるメコンオオナマズの行動生態に関する研究』

三田村啓理 (京都大学)

13:50-14:30 顕功賞

『海洋生態系モデルの開発』

中田喜三郎 (東海大学)

- 参加費:一般3,000円, 一般学生1,500円, 正会員2,000円, 学生会員1,000円(要旨集を含みます)
- イブニングセッション(10/23(月)) 会費 5,000円
- 当日入会受付もいたします(年会費:正会員6,500円, 学生会員 2,000円)



[お問い合わせ先]

〒424-8610 静岡市清水区折戸3-20-1

東海大学海洋学部環境情報工学科内 海洋理工学会事務局(千賀)

電話: 0543-37-0917 FAX: 0543-34-9983 URL: <http://amstec.jp>